



風っ子・環境キャンペーン

高崎市

観音山で川と山も 大切さがわかったよ！ カッパピアエコクラブ



水生こん虫探しで、たくさんのヤゴのほか、サワガニやカワニナも発見して大満足のメンバーたち

カッパピアエコクラブは、昨年発足した新しい団体。観音山のレジャー施設「カッパピア」の跡地をベースに、小学生が森林や小川などの自然にふれながら楽しく環境を学んでいます。2年目の今年、初の活動日

となった5月20日には、メンバーとサポーター、保護者たち、20人が集まりました。早速、みんなで園内散策。日当たりのよい丘の斜面に、丸い穴が開いているのを発見しました。「キツネの穴だよ」と教えてくれたのは、サポーターの西野仁美さん。近づくと、もうひとつの穴がありました。この時期、キツネは子育て真っただ中。穴の中には赤ちゃんキツネがいるのかな？ 気になるところですが「こわがらせてはかわいそう」と、そっとその場をはなれました。

長ぐつにはきかえて水生こん虫探しもしました。水の中に網をはずめて軽くゆすって引き上げると、何やらピクピク動くものが、オニヤンマのヤゴです。オニヤンマはヤゴでいる期間が4〜5年と長いので、大きさも2センチくらいから4センチを超えるものまでまちまち。羽化するときは水からはい出して山に向かうのだそうです。成虫になるには、水も木も必要なんです。オニ



ミゾウジュを見つけて「準絶滅危種」の札をつけました

ヤンマの生態を通して、川と森の大切さを学びました。反町健志さん（片岡中1年）は「専門家からくわしい話を聞き、自然体験をする中で考えさせられることがたくさんあります」と、関口暹さん（同）は「自然の大切さを実感し、自分たちの手で守りたい」と言います。エコクラブの活動はまだまた続きます。

風っ子・環境キャンペーンを応援します

カッパピアエコクラブ

田中和夫会長 30人
高崎市兼附町1570-9
TEL: 027-325-0721
創立/2017(平成29)年

環境保全のボランティア団体「環境アドバイザー高崎地区会」が主催している子どもエコクラブ。毎月1回、カッパピアの森林の中で活動しています。



群馬県のマスコット
「ぐんまちゃん」
許諾第29-110989号

身近にできるエコ活動

大切な食べ物

皆さんは朝昼晩と3食きちんと食べていますか？お母さんが作った食べ物は残さず食べていますか？ご飯、パン、うどんなど主食はその日によって違うでしょうが、残す人はいませんか？兄弟で食べ合いをしてお皿に取りすぎではありませんか？今の日本はホテル、ファミレスなど色々なお店でも残飯が多く出ています。これらの残飯は捨てられています。資源のない日本だけでなく、世界の食料はこれから地球の温暖化、気候の変化で植物が育たなくなる場所も多くなります。食べ物を残さないためにも、食べられる分だけお皿に取り、残飯を出さないよう、今から心がけましょう。

群馬県環境アドバイザー 原田邦昭